音楽文化論 A

【ポピュラー音楽の各論】

■ジャズ

●ジャズにもいろいろある

上原ひろみ(1979-): Sparke (2016) ルイ・アームストロング(1901-1971):聖者の行進 グレン・ミラー(1904-1944):イン・ザ・ムード ノラ・ジョーンズ(1979-):ドン・ノウ・ホワイ









●「ジャズらしさ」をもたらすもの

山下洋輔先生の講演:「演奏の創造性――クラシックとジャズ」(1996年6月 講堂小ホール)

「ジャズらしさ」の要素

・スイングするリズム

アップ・ビート(裏拍)の強調 シンコペーションの多用 不均等なリズム割り



・テンション・コード

6th, major 7th, 9th, 11th, 13th...などの付加的な響き(解決しない「不協和」な和音)

・ブルー・ノート

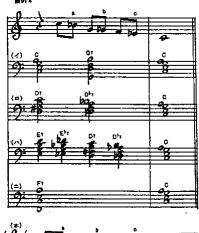
ブルーズ旋律などに見られる独特の音程:3度、7度(5度)が微妙にフラットする傾向 ブルーノートは「旋律的」なものであって「和声的」なものではない

山下洋輔『ブルーノート研究』(『風雲ジャズ帳』所収)による



←典型的なブルース旋律(ヨアヒム・ベーレントによる)

↓様々な和声付けが可能





↓旋律をずらしたり、全然別の旋律を付けることも可能



↓しかし旋律の音の順序を変えるとジャズでなくなる!

